

平成 27 年度 和爾町視察会議録

日時：平成 27 年 11 月 28 日（土） 場所：

市側出席者 並河市長・川口参与・井上課長・山下係長

和爾町出席者 ■■■ 区長 他 34 名

（途中からの続き）

市長：健康被害との関係で指摘を受けたものでございます。今櫛本の土地改良区の皆様方からも質問を受けているところなので、改めてこの機会にご説明をさせていただこうというふうに思いました。実際来る施設に関連する健康被害というのが無いのかという事でございます。これはいわゆる杉並病というのが平成 8 年、9 年頃に話題になった事がございまして、その後それとほぼ同じような騒ぎが大阪の寝屋川の方でもありました。で、この杉並病と同じような事が起きるのではないかと、これはクリーンセンターとは若干違っております。で、東京都が今私達がやってる分別と同じやり方を現在はやっておられるんですけども、昔は違ましてプラスチックをもっと広範な範囲で他の不燃ごみなんかとも一緒にガシャガシャと合わせてやっておられたという事でございます。で、質問された方は恐らく事情は全部ご存じの上であえて言われたんだろうなあというふうには思っておるんですけども、この杉並の事件、この 9 ページの上の所から読ませていただきますけども、不燃ごみの中継施設の健康被害について、公害等調整委員会これは色んな専門家の方、弁護士からまたその環境関係の専門家等が入られて公害が健康被害に繋がったかどうかをやる国の方でやっている機関でございまして、これは因果関係について一部この推認する他はないという形で浮揚した事件でございまして、推認というのは周りの状況から推察すると合理的に考えて健康被害を認めざるを得ないというのがこの推認という言葉でございまして、しかしこれはですね、一般的にこのごみ中継施設が危ないというような事を示した事例ではございまして、実は平成 8 年 4 月からこの施設が出来たんですけども、床の排水を直接下水に放流していた時期というのがございまして、2 つ目の段落の部分で読んでおるんですが、そして換気系の所にフィルターを設置していなかった期間というのも平成 9 年の 4 月までの間がありました。その後問題になったんで改善措置を取られた。で、その前後を比較した場合に健康不調や異臭の苦情の訴えこれが大きく違う。ですから改善する前というのはあったけれども改善する後というのは一気にそれは減っているという事を見ていった場合には様々な専門家がこう見ても原因物質というのは仮にはっきりしないケースでも、これは因果関係を認める事ができる場合があるという形で、これは健康被害が認められた。ただしその不備が是正された後の症例についてはこれが因果関係が認められなかったという事件でございまして、こういった事件がありますとその筋の活動家の方いらっしゃいますんで、色々類似の話というのがあります猪名川もそうでございまして、あ、猪名川ではございませぬ、寝屋川もそうでございまして、ただこれは高裁等の判決等なんかでは全て因果関係は否定をされているところでございまして、これの部分を持って来られた方がいらっしゃいまして、健康被害を発生させているのではないかと、もう中には死んでいる方もいるというような形で私共ご指摘を受けたわけでございまして、死んでいる方がいるというのは裁判やあるいはこの裁定、公害等調整委員会の中では全く出てこないんですけども、非常に熱心にそういうのを取り上げ

ておる出版社さんがいまして、他には例えば天皇陛下の戦争責任とか慰安婦問題とかそういうのを非常に熱心にやられてる所は環境部も出してそのとある1冊の中に何人死んだみたいな事が書いてあったという以上でも以下でもないんですけども、まあそれを出されてきたという事でございます。ただこの東京都が先程申しましたように平成20年の4月からこの不燃ごみで処理をしてたプラスチックの分別方法というのを分けまして、このプラスチック容器包装だけを今の所も同じだったんですけども、この資源ごみとして処理をして後は可燃にするという方法に変更しております。この多くの施設というのは住宅のど真ん中に所在をしているわけなんですけども、その後このいわゆる杉並病と類似の健康被害が認定されてる事例というのは全くございません。この杉並の施設自体はですね、実はこの裁定の後もずっと稼働しておったんですけども、プラスチック自体の分別方法が変わったんで、もう処理する量というのがほとんど無くなりまして歴史的な役割を終えたという事で、用途が不要だったという事で閉められた施設という事になっております。ですので、標本の方の皆様方には今回の私共の施設の話と杉並病等を結びつけてですね、健康被害という事を仮に仰られたとしてもそれは違うものですよという事を今説明しております。もしそういったお話をお聞きになる方がいらっしゃった場合に備えて今ご説明をさせていただいたところでございます。ただ何れにしてもやはり私共としては関係の法令で下水道に放出できる水質基準というのはいくらもありませんんで、それを無視してこの杉並の20年前みたいな形で排水を未処理のまま直接流すという事はこれはありえない話でございます。また換気系の所への対応も含めて周辺大気、これは大阪の例えば八尾の施設というのが最近できているんですけども、定期的に近辺の空気を全部測ってですね、検査されて周辺の住民の方に公表されておりますんで、そういった事については私共もしっかりとやっていく、ですからそれほどの頻度でやってどのくらい地元の皆様方に公表させていくかというやり方も含めてこれから立ち上げていきたいと思っております。その環境保全の委員会、こちらで検討していきたいというふうに考えております。是非この皆様方、また周辺町の皆様方にもこの代表として参加いただければより安心もしていただけるのではないかなあと考えております。すみません、あの非常にややこしい話でございましたですけども、健康被害等あるいはこういった煤塵等についてもご質問等がございましたら、言っていただければお答えさせていただきたいと思いますが、如何でございましょうか。もしございませんでしたらまたこれについてもですね、ただやはりずっと続いていく話でございまして、この場でなくても後で思い返してこういった物質についてはどうなんだというような事がございましたら、ご遠慮なくいつでもまた私共に聞いていただければというふうに思います。それであの最後の点についてこれは私共今回「町から町へ」の中でも、12月の12月号ですね、1月がまた阪神淡路大震災から今年まあ次は21年目になって参りますか、20周年が今年ですよ、それに向けて一般の皆様方に地震についての注意喚起を行う為に東縁断層帯も含めての特集も組ませていただいているところなんですけども、そういたしますとこの東縁断層帯とそして新しいごみ処理施設の候補地を選ぶという事についてどうやねんというようなご指摘をかねていただいているところでございます。これについて今私共がお世話になっている専門家の先生で奈良県の防災の委員長を20年くらい務められまして、また東日本大震災、阪神淡路大震災の復興委員も務められた先生とまた地震の際の構造物がどういうふうな揺れが起きるのかとい

うような事を専門にされております[REDACTED]教授、また地盤とか土質工学の専門家という事で[REDACTED]教授、このお三方の方に文章を作成をさせていただきました。ちょっとこちらの方、川口参与の方から読ませて説明をさせていただきます。

参 与：それでは説明をさせていただきます。まず1番目、周辺の地形の高低差や隆起、地下水系の断絶を示す竹の群生状況等から、焼却施設候補地である台地とシャープ天理工場の間にある谷筋に活断層が位置するとした国土地理院の推定図は妥当性が高いと判断される。断層変異により、建物等への直接被害をもたらす地表断層は台地上に隆起している候補地に走っている蓋然性は極めて低いと言え、今後の地形的な観点からの調査により明らかにする事はできる。また活断層はジグザグに走行するものではなく、直線もしくは円滑な曲線上に走行する為、活断層があるとみられる谷筋から焼却施設候補地の箇所のみ局地的に寄り道するような破壊は起こらないと言えます。なお阪神淡路大震災では地形等から予め明らかに判別された活断層と実際に地表面がずれた箇所の距離は、距離の差はありませんでした。2番目に阪神淡路大震災等で観測された最大加速度のデータから活断層からの距離が10キロ程度の範囲内では地震の揺れは距離と反比例せず頭打ちになる事が明らかとなっている。活断層近傍の場合はむしろ加速度よりは変異の影響が甚大となるが、断層がその真下を通るような・・・や・・・のような構造物でない限り通常の施設や建物、工場等の単体構造物への影響は小さい。次のページです。

次 長：すみません、ちょっとホワイトボードに書けるようなマーカーっていうのはありますでしょうか。すみません、ご迷惑かけます。

女 性：閉じてもらったらホワイトボード、開いたままやったらスクリーンやから。

次 長：あ、そうですね。閉じて。

女 性：こないだ間違えてスクリーンに書かれた方がいらっしゃったんで。

次 長：おー、わかりました。閉じたらいいんですか。はい、わかりました。

参 与：周辺の地表断層に数メートルのずれが生じた場合でも、候補地下の地層構造が変化して地盤が直ちに脆弱になるわけではなく、耐震構造により建物の損害を防ぐ事は十分可能である。またずれが想定される断層を横切る下水道管等の地下埋設物についても、予め柔軟性を持った躯体を・・・する等により断絶を回避する方法もある。3番目、ごみ焼却施設は国土交通省、環境施設の総合耐震計画基準により震度7相当に耐えられる基準で・・・とされており東日本大震災や阪神淡路大震災相当地震があった場合、大規模な補修をする事なく機能を確保できる事が図られている。今後天理市の新施設を具体的に検討していくにあたり、当該候補地及び周辺の地盤や土質を検証しながら先進技術を活用していく事により焼却炉本体やボイラー、配管等の損傷を抑制し、内部のごみや汚染物質の露出、地下水系への流出を防ぐ事は十分可能である。またリサイクル施設候補地は液状化の懸念があ

る場合でも土質調査の上、基礎地盤に対する構造的・・・は可能であり直ちに建物が崩壊し、内部の汚染物質が流出する等を仮定し候補地の適性を議論する事は合理的ではない。4番目、今後環境影響評価と並行して地盤と十分考慮した耐震構造を持つ施設を立案し、候補地周辺地域に居住される市民への説明を始め情報を公開した上で計画を進めていく事は重要と考えられる。

市長：という文章でございます。もしあの分かりにくい部分があるかもしれませんので、以前説明会にお越しいただいた方にはお話しした部分なんですけれども、念の為改めて申しますと、これは例えば阪神淡路大震災だったとして、破壊された活断層がここであるとする一般的なには近ければ近い程揺れの強さというのは強くなるんじゃないかというふうに思われがちなんですけれども、実際には10キロから20キロよりもっと遠い所になると確かに揺れの強さというのはどんどんどんどん下がっていったと。しかしこの10キロ20キロ程度の範囲というのは私達の感覚からすれば遠いんですけれども、地球規模の問題からすれば非常に近いわけございまして、この間の所にはこう点々点々がいっぱいあってむしろこっちよりこっちの方が強かったりという事で、相関関係が見られないという事でございまして。じゃあ何が影響するのかというそれは地盤だと。地盤が強いかどうかという所が大事なんだという事をまあ言っていたらいいわけございまして、参考の所に少し小さな字で書かせていただいているんですけども、これが注目されてきたのは70、1970年代からございましてアメリカの方で起きた地震で地表断層というのはその断層自体がよれるそのポイントです。そこの真上とほんのちょっと離れた場所だけでも建物の被害率にももの凄いな差があったという事から、これはどういう事なんだという事で研究が進みましてこれは日本でも条例化をもっと急げという事で、先進自治体では検討が始まっているんですけども、アメリカではこの活断層法というようなものができました。で、これによれば活断層の所在が明らかになった場合には建物を15m程度この後退させて建設をさせなさいというような事が義務付けられております。ですから片側15、もう片っぽが15ですんで、この断層を挟んで30m程の帯の所は念の為に破砕の直接的影響を受ける可能性があるので避けなさいという事でございまして。これも実は非常に先進的でございます。実際日本ではこの30mの範囲の中にたくさん学校なんかも所在してしまっているんで、それをどうすんねんというような議論が起きている。またニュージーランドでも非常にこれも先進的な事例なんですけれども、断層が走ってましてここは20m、この帯状の地帯には建物を造りなさんなという事になっています。なのでニュージーランドの方では住宅地の真っ只中にこれが走っているような場合があるんですけども、仕方がないのでその所、道路にして20mの幅の道路の横に家を建ててらっしゃるといような例がたくさんあると。それが11ページの所に若干写真も示させていただいたところなんですけども、日本でも阪神淡路大震災のみならず、この長野の方の地震だったりとか上越ですとか東日本の時でもこっちの所はずれてるのにその横にある古い建物というのが生き残ってる例というのは多ございまして、ただその事はですね、だから全然回答しないといいんだ、対応しないでもいいんだという事を言っているという事では決してございませぬ。この3人の先生方も言っておられるのは、結局距離からだけで測るのはあまり意味がないという事言っていたらいい上で、しかし土質、地盤というのをきちんと確認をした上で震度7の相当に耐えられるような基準というのが

今技術もあるのでそれをきちんと確認をしながら今後どういった構造のものになるのかというのを明らかにした上で、市民の皆様方にも説明をしていく事が必要であるという事を強調いただいているわけございまして、もちろん私共も非常に大きな予算を使って造らせていただいたものをすぐに壊れるわけにはいきませんので、まずそこはしっかりと対策も取っていかないといけないと思っております。これについて櫛本町の方でも私達が元々配ってありました防災マップに書いてある事と、今市の説明が食い違っているんじゃないかというような事を言われる事がございます。実は防災マップと私達が前に配った国土地理院のものというのは矛盾はないんでございます。ただ説明の仕方が非常にややこしくて、あれは東縁断層帯、ここが一番すぐ近くに通ってる所が直に揺れる内陸型の地震がぱーっと起きた場合にどれだけの揺れが起きると想定されるのかを地図で示しております。その場合にはこの所が震度7になっていて市の盆地の他の部分で6程度になっている所もありますから、一見するとここの方が危ないと。ただ日本国中には断層は他にもいっぱいありまして、生駒の方の断層とか菖蒲池の方の断層とか紀伊半島の中央の断層とかがございまして、そういった色々な断層の今後の内陸型また東南海の地震みたいな海の方で起きる地震、その辺を総合的に見ていって今後30年間の内に震度6弱の地震が起きる可能性っていうのを見た場合にはこうなりますっていうのが実は前私達が示させていただいたものという事でございまして、説明の角度によってちょっとこう一見食い違っておるような印象を受けられるかもしれないんですけども、大事な事は結局全く安全な所というのはございせんので、きちんとしたものを建てましょうと。ただそれは対策としては十分今の技術ではできますと、ただできない場所というのはさすがに真上はバキッと割れてしまうトンネルとか長い建物になると、なのでそこは避けた方がよいですというような事が今回の事でございまして。なので私共も今後の環境保全委員会の中ではこの3人の先生ももちろん入っていただきまして、実際にどういう土質でどういった構造の物を建ててこんな形で先進技術、要は揺れがそのまま炉とかに影響しないような設計になっていくというような事をきちんと資料の形でお示しをさせていただこうと思っておりますが、それにはそれなりの準備と予算が必要でございます。今の時点ではまだそれを全部設計図を描くところまでいっておりません。今後ですから4年間の環境影響評価をやっていくのと並行作業としてしっかりその部分もやっていこうというふうに思っておる次第でございます。少し分かりにくかったかもしれないですけども、今の地震とか断層の所について何を言ってるか分からなかったとか、ご質問ご疑念の点がございましたら言っていただければと思うんですが、どうぞ。

和爾町：今ここ読ませてもらってね、シャープ団地とシャープ工場の間にある・・・っていうのがね、私とこの家の辺なんですと思うんです。

市長：あのすみません今日住民説明会に来ていただいた皆さんばかりだと思ってたもんですから、つついちゃんとして持ってこなかったんですけども、これが国土地理院の方から示されておる、これシャープ、これは。

和爾町：これ来てもうた時に・・・この・・・に私とこの家と工場が・・・多分真上にあったや

る、あの谷の。そういう事も考慮して。

市長：何かちょっとお宅の方の耐震性について非常にご心配の点もあるという事で、それはもう防災の観点からこの件があろうが無かろうが対応しないといけない事だと思いますんで。

和爾町：で、まあもう一つ、予算、もうこれ県の予算、あ、市の予算に組まれたかもしりませんが、天理市の駅前、あの工事ね、凄くお金使ってますやん。要りますんやろ。何億で。そんなのからね、それが特別必要なのとかどうかね、私達市民はみんながそう思ってるわけでもないしね、ただ安全性を考えるとやっぱりそっちの方にね、重点的にね力を入れてお金の使いもしるとすれば、お金を使って絶対安全なものを造って欲しいというふうに思います。

市長：そこはわかりました。それと是非ご理解いただきたいのは駅前の広場をやる事になったという事なんですけども、率直に申しましてロータリーだったりとか色んなもの合わせたら14億程かけております。その内の半分以上はただ国と県から引っ張ってきている。で、市が持ち出す分というのも今すぐ払うものもあれば将来的に払っていくものというのもあります。そこでご理解いただきたいのがまあこれ私2年仕事させていただいてますけども、あれをやる為に他の教育予算とか福祉予算とか安全性を確保するものを削ったり遅らせた件というのは1件もないつもりでございます。むしろ前栽小学校にしても新しい市立病院にいたしましても、学校の耐震化にしても早めとる記憶というのはいっぱいあるんですけども、遅らせているものというのはありません。それと私達が持ち出すお金というのは結局それよりも何倍か他の予算を持って来れるかどうかという視点も非常に大事でございます。駅の所の広場の計画はこれはきっかけだったんですけども、県と市の連携協定の・・・奈良県の中で一番最初に結ぶ事ができました。その結果ですね、天理に来る見込みが全くなかった10億規模の道路が2本も来るという事で今動いております。ですからもうその時点で我々は自分の出費の3倍以上の他のお金というのは引っ張って来れている。で、まあその道路も別にその市民生活にいらんという事になればまた別なんですけども、今後の防災の点から言っても企業誘致の点から言っても非常に重要でございます。なので是非金額でものを判断するという事も大事なんですけども、お財布の出所がどこからか、あるいはそれがきっかけになって他の予算に繋がっていったのか、そういう所も是非総合的に見ていただきたいですし、また駅の所についても何か変てこな物だけ造るというような発想よりも子供の遊び場をどうしていくのか、これはまた学校の使い方とか他の色んなことも連携をさせていってるんですけども、あるいは介護予防の講座をどういうふうに関るとか公園に健康遊具どんどん増やしていってるんですけども、使い方ややこしいんで、なかなかわからない。だから市の一番皆さんわかっていただくような所にそういうものも置いてこっちで講座をやった後、そういうような講座もやりましょうとか、まあ色々我々としては考えている部分がございます。ただあの、今ご指摘を受けたという事はまだまだその政策目的であったりとか、あるいはそれがどういう他の案件に繋がったのかという部分を我々として説明が足りていない部分があったなあという事を痛感いたしましたんで、またそっちはそっちでしっかり頑張っていって。ただお分かりいただきたいのは何か

これで削っているものというのではないと共に今回のクリーンセンターの広域案をですね、もし地元の皆さんにご理解いただいてやらせていただいたという事になれば、お金の話ばっかりで恐縮なんですけども従前申しておりますように建設費用としては3分の1になります。毎年かかってくる運営経費というのも1億円以上変わって参ります。それを地元の振興にしっかり役立てていこう、あるいは今日もお子さんいらっしゃるんですけども小学生になった瞬間に子供の医療費というのも天理は補助がなくなっている。これもっと中学生まで延ばして下さいっていうご要望いただいて、今あのお金がないから無理です、まあこういうお返し方だった。でもこれが周りの市町村と一緒にやる事で節約されれば、そういう件も中学まで延ばそうというような形でやっております。なかなか削るだけの発想でも市が火が消えたようになってしまいますんで、どうすれば持続可能で元気になれるか、絞る部分があったらそれだけどこで暮らしが豊かになったかなあというふうに思っていた所にお金を回していくかという視点でやっておりますんで、何かこっちの案件をやって安全を疎かにする、特に今回の件は10の市町村みんなのお金でやる事になってます。地代もですからみんなで分けますし、運営費用もみんなで分けていく。そんなところでいい加減な計画を練ってですね、そしてその安全性に問題があって、すぐ使えんようになるというのは死に金でございますんで、私ですからその予算の金額の部分というよりも、常に皆さんからお預かりしているお金が生き金なのかそれとも死に金になってしまうのか、それを一番念頭に入れてやっていきたいというふうに思っております。他もしございましたら。

和爾町：ちょっとすみません。参加のね、市町村・・・されるんやったらみんな知ってはる。

市長：はいはい、その紙持ってきてます。

次長：今日持ってきてないです。

市長：すみません、これについてはもう区長様方、区長様にですね、急遽ご連絡するのがというような形で発表になってしまった。これについては率直にお詫びを申し上げたいと思います。経緯については今まで説明会の機会に他の市町村も参加をする為に意志決定をしないといけない。高田がそうだったんです、最後まで残ってるのが。高田は積替施設を造っていただかないといけません。で、天理に直にパッカー車が来ないように全部大きな車に乗せ換えて持って来ないといけない。あるいは市民の皆さんも直接うちに持ち込んでくるんじゃないくて、高田の積替施設に造って下さいというような事をやらないといけなかった。そうなると高田の議会もそうですし、積替施設を造られる可能性がある地元のご同意というのも得ないといけないという事から、先に天理の方からどこが参加するっちゃうのを言ってもらったら困るというような状態が続いていたんでこれまで10というような言い方をさせていただいておりました。ただ高田の方が最後に残って特別委員会の中で記者さんがいらっしゃる時にこのグループでやりますというのを議論されてしまったというのがありまして、それでもう新聞に載るといような状況になった時に、それは我々今まで他の市町村の事情考えて皆様に申し上げていなかったのに、先に新聞で見るような事があった

らいかんという事で、急遽この樺本校区の四役あるいは関係町の区長様方に夜中でしたけどもご連絡して公表していったという事でございます。で、今すみませんあの改めて紙でもお配りをさせていただきますけれども、高田市、広陵町、上牧町、三郷町、河合町、安堵町この6つがこれまでの天理、山添、三宅、川西の4つにくっついて参ります。これで合わせて10おおよそ人口としては25万でございます。ただリサイクルについてはやはりそれぞれ事業者さんがいらっしゃいますんで、もう自分の所から無くなってしまうと事業者さんもお仕事無くなってしまうから自前でやりますという町も多ございまして、内、高田と三郷、河合さんはうちには来ませんで3と。10と7でそんなに違うかという事なんですけど、比較的人口が多い所は抜けましたんでリサイクルについては15万人規模というふうになって参ります。これは繰り返しますが、全てこの10市町村については地道は走らせません。名阪から持って来る、で、時間帯についてもずれて到着するように調整をして参りたいと思います。可燃に関して10トントラックに乗せ換えた場合に1日60台程度が参りますが、現在の名阪は12時間で平均3万台車が走っておりまして、内トラックが約半分、1万5千台程度という事でございますんで、まあ1台も増やすなと言われると難しいんですけども、その平均3万のところに60台程度が加わってくるという事についてご理解をいただきたいなあ。で、またそうする事が先程申しましたような医療費助成であったり、また地域の振興の所に回せるお金の所にも繋がってくると思っております。最近国の方では本当にそのクリーンセンターの電力、これが今までは売電くらいしかなかったんですけども、もっとしっかりと使っていけるのかというような事で、大分予算をつけていくという方向は示されましたんで、これはうちもまだ建設までに期間がありますから、何とか地元振興にこの電力熱源利用をやっていくべくですね、検討を進めていきたい。今時点でも浴場施設とかそういうのは上に造れないかなとかっていう事で、検討は開始をさせていただいて、あるいは今日も見ていただいたようにグラウンドまたこの公民館のような施設が立派なものがこの川西もあるわけなんですけども、それにそれよりもっといいものをしっかり造っていき、ただそれが小分けにした団体ではやっぱりそんないいものは造れないわけでごさいますんで、一緒にやる事によって地域の皆さんにとってのここがどういう状況かっていうのは今日1日だけでお分かりいただく事も難しいかもしれません。私も今まで視察にただただでございますが、少なくとも女性でリースを作っておられた皆さん、ラグビーをやっておられた皆さんと、今天理のクリーンセンターに土日にピクニックに来られる方はまず居ません。あそこに何かしようと特に来られる方もいない。あれだけ見るとやっぱりそのただ我慢せんといかんのかっていう要素しかないと思うんですけども、ここの施設は本当にそういう形で地域の色々な活動だったりお祭り何かにも使われてる部分でございますんで、私共しっかり白川がですね、この機会に土日も多くの方が来ていただけるような場所にしたいなあと思っておる次第でございます。すみません、ちょっと脇道にも逸れましたですけども、今が、これが構成10市町村に関する事でございます。

和爾町：わかりました。

和爾町：まあこういう機会ですので、できるだけいいご意見がございましたら・・・。



和爾町：今日のこの場所もね・・・非常にこれはまあ美しくね、みんな環境にも非常にええとことやなど私、場所的にはね思ってますすわ。ただ悲しいかな運転してないでしょ、臭いも何にもわかりませんやん。

市長：いや、焼却が今ずっと動いてたんで、リサイクル。

和爾町：あの窓から見とるだけのもんで。

市長：いや・・・車も私達来る時は出入りをしておりまして、今日ここの辺りは少しだけ臭いがしてたと思うんですけども、これは空調の設備を通じてちょっと流れてきておる部分がどうしても屋内はある。なので是非この屋内のまあこと焼却のところでも大分臭いは違うと思うんですけども、外に出た時の感覚の違いというのを見ていただきたいと思います。で、臭いについてはうちの今の施設が何であるかという事なんですけど、ごみが溜まってたピットございました。あれが外気とそのまま繋がってんのがうちの今のクリーンセンター、はい。で、それとこれあの他の町で露骨に言われたんで正直に申し上げますと、市は都合の悪い事見せとないから土日にならざる設定して閉まってる時に来させたというようなご指摘を受けた事がございまして、ただこれについては土日じゃないとやはりお仕事の都合で参加でけん方もいるという事で今日設定しただけでございます。もしちょっと実は平日来たら違うんじゃないかなというご疑問をお持ちの方いらっしゃれば、我々も2回目でも3回目でも視察を組ませていただきたいと思っております。ただ今まで平日来た時もありましたんですけども、この中にしても外にしても・・・の時だから違うというような事はまあご指摘としてなかったかなと思っておりますんで、夏場は実は止めてる時が一番臭いがするんですねというのはその空気がバーっと中に送り込んで燃やすのが炉ですけども、その空気を送り込む流れがなくなってしまうとむしろ溜めこんでいるピットの臭いというのは本来外に一番出やすい。中にバーっとこういつて燃やす所と、何気なく臭いが漏れる所という事なんで、ただそういう時も他の施設も行きましたけどもやっぱりあの扉とあと中に送り込むエアカーテンの所で、それはないという事でございまして今日もそうですし、平日あるいは夏場のご疑問ある場合には何べんでもそれはもう視察は組ませていただきたいと思っております。

和爾町：臭いもあのよろしいで。

和爾町：あの場所に決定しましたんですか、あの場所に。何かもう決まってどんどこんどこ進んどるような、地元住民ほっといてですね、何か進んどるように思てもうて。言い方がねえ。

市長：さっき川口参与の方から読ませていただいた経緯の部分なんですけども、他のその。

和爾町：場所探されましたか。

市長：という経緯を一応さっきから説明させていただいてるつもりなんですけど。

和爾町：そんなん文章みたいなもん書こう思ったら何ぼでも書けるん違うか。いや、言うたら。いや本当ですよ。

市長：はい。だから今回僕らも色々話してる時に、例えばその今の隣接地やったら小島の区長さんとか組合長の方も、ほな俺らがもう直に事情説明に行ってもええでというような事も仰っていただいたんですけども、まあまあそれだと変にその行政がちゃんと仕切らん内に市の町同士何かこう押し合いへし合いみたいな形になんのはちょっといかがなものかちゅうふうにも思いましたんで、それはまずうちの方でちゃんと説明させていただきますというような事で来たんですけども。これがまあ10年20年もっと長い期間もしかけて一から地権者とわたりながら土地の交渉をやっていったら可能性がゼロかと言われると、まあひよっとするところ本当にこつこつこつこつ借り止め、地権者と交渉すればですね、可能性が出てくる場所もまあ盆地の中出てくるかなとは思うんです。ただそれをしてしまうと今の炉が動いてる内にこの新しい施設を造るという事がでけへんという事情がございましてこれはですからもう住民説明、まああの町の説明会の時にもお詫びをさせていただいた部分がこれは何べんも謝り続けられないかんなど思うんですけども、やはりあの何でもっと早くからやらへんねんという事を言われてしまうとそれはもう我々としてはこれまでの歩みについてはもっと早くから根本的に取り組むべきであったなという事で、お詫びをした上で、ただ今与えられている諸条件の中で言えば是非ご理解いただく中で、しっかりとした施設を造らせていただけないだろうかという事でございます。

和爾町：これはね12月の市議会で決定されようとしておりますやろ。おそらく。

市長：12月の市議会にかけますのは、10の市町村で一緒にやっという為、本来は市町村毎にやらないといけない事務なんです。で、事務組合というのは何かというとバラバラじゃなくて一人のチームとして、つまり一人のまああの擬人化されたまあその団体というか人間ではない、あの塊として行政を進めていこうという事を決めるものでございまして、その設立の規約を含めるとる条例制度がかかってくるのが12月という事になります。で、もちろん他の10の市町村についても、どこでやるか目途がまったく立っていない状況の中で、一緒にやろうなんていうチームも組めないわけがございまして、現在の候補地の所で進んでいくという事を前提にこれは10の市町村で合意をしていくというような流れが今進んでいくっていう所でございます。ただそれは申し上げたように、まず10の市町村でやらないといけない事はここでやった場合の環境影響というのをしっかりと検証していくというのが一番最初に出てくる所いう事でございますが一般論からすればまあそれで県とかから造っちゃダメな施設だというふうに言われる可能性っていうのはほぼ無いと。

和爾町：そりゃそう思いますわね。

次長：今のね、技術的にですよ。

和爾町：10 のね、市町村も皆議会にかけるはずやからね。ここで決定俺はそう見てるけどやね、個人的にね。

市 長：この 10 の市町村からはもう今公印を押した参加表明というのをいただいておりまして、それをやる際には否決される可能性があるものを送ってこないという事で、実質的にはもう説明をやって中の大半の合意を得た上でそれぞれの町長、村長からまあ紙をいただいとるという事でございますんで。

和爾町：これね、今ねここに視察寄せてもうてますけども、環境と状況、天理市が今クリーンセンターを建てようと思ってる場所と全然違うと思いますねんやんか。状況、環境がね。このこの国崎の場合はクリーンセンターを建てる為に山を切り開いて造ってはるような感じですよ。でも今建てようと思っはるとここにはこういうわざわざ山を切り開いてじゃなくて、今までの説明もちゃんと聞いてますねんけども、ちょっと違うんかなと。簡単に言えば委員会 1 件もありませんやんか。

市 長：あのそこはですね、もしあれやったら・・・に回って行ってもいいかなと思いますけども、下流に元々ある場所というのはダムになっていてだから・・・にあるんです。

和爾町：・・・前に白川の新興住宅ありますよって言わはったんが戒めやと思いますねん。民家がありますよっていう事を言うたと思います。

市 長：いやまああるという事・・・。で今上流にあるという形。

和爾町：今建てようと思っはるとこの、そつと覗いたらもう家ありますやん。今ここ・・・どこに家ありますのん。

市 長：あのそこはですから私共は今日ここに来させていただいたのは、大体稼働してからまあ 5 年以上やっぱり過ぎている施設で、でもしっかりやられている近隣で天理から日帰りできる場所という事で選んだだけでございまして、今日は一般的にクリーンセンターっていうのはどういうものか、で、実際の方どういう利用されていて、臭いがどうでとかっていう事をご理解いただく為に来たという事でございまして。

和爾町：今せやけど先程質問あった時に喋ってはった市長喋りはった事は、もうそこに建てますよと、今言うてはるこの場所に建てはるよという前提の下で話してはったように僕は受け取れたんですけど。今言いはったんまた違いますやんか。

和爾町：いや、そうとちゃうのん。

市 長：私共としては率直に申し上げればそのつもりでございます。ただそこには 1 つの条件は

課されている。条件って何ですかっていうのは、実際の今の名阪だったり色んな諸条件からした時に、ここに造った場合に環境がどうなるかというのは、これは施設を造る際にやらないといけない手順がある施設なんで、その手順を踏まないとならダメだったら造れないっていう可能性はゼロではないです。ただ先程資料の1ページの所から申し上げたように、他の候補地というのが今我々ない状態でございますので、何とかご理解をいただきながら進めていきたいという事でございます。で、ここが山の中という事なんでございませぬけども、来る途中には大阪の正に平野の所の辺りで、大阪の市内真っ只中の施設もございました。もし街中の施設っていうのがどういうものかという事であれば、他の施設というのも視察は言っていただいても準備はさせていただくつもりでございます。ほんとあの東京の方ですぐ傍に家があるような所にも見に行っていたいただきたいなあという思いあるんですけども、なかなか日帰りつちゅうのも難しいんで、場合によってはでも校区の方で代表者の方に行っていたとかそういう視察を今後組ませていただきたいと思ひます。

和爾町：これパーになつてもね、嘉幡はもう稼働できませんもんね。

市長：まあその10年程しかもたんの。

和爾町：10年後はまあ市長も私らも居てへんけどな。

市長：人間何があるかわからないですけども、私あの10年先クビになつていたいと思ひませんので、しっかり仕事をしてこれをやり遂げるのが私の仕事だというふうに思つておるんで、あまりそれは4年に1度皆様に審判を仰がないといけな、ある意味非常勤職員みたいなもんなんでそりゃ頑張らんといかんのですけども。

和爾町：市長さんの意見としては今わかつたように、後2年の任期が残つてるのでそつからもう一つ上の方に行くという話も聞くけどそれは無しで、もうこの天理市のこれをあれするまでは一応選挙は4年毎にあるんですけども、もし通れば市長として全うすると、そういう考えでよろしいですか。

市長：私は全うし続けたいという思ひです。せんとかんとこれしっかりやりきつてちゃんと稼働するのを見届けないと自分が今仕事をしている意味は無いというぐらゐの気持ちでおります。で、それはまあただ個人の事今あいつは大分前から選挙活動してたと言われるとそれも問題なんで、微妙な言い方しかできないですけども、少なくとも何かどつか他に行くような事は全く今想定してないですし、それと共にですな、腰掛けのつもりであれば修理した方が楽なんです、私からすれば。別にお金が凄くかかるというのがわかつてても今の施設を15年修理をするというふうにするれば、別に地元の皆様方に色々疑問にお答えをしながらご理解いただきたいというような事はあまりせずに済み、サつと嘉幡を15年やれば10年先ぐらゐにですな、後は野となれ山となれで別にシラつとしてればいいわけなんです。でもそういう。

和爾町：嘉幡の人にはもうこっちに移るといふ事を。

市長：それはこないだの一般説明用の資料を「町から町へ」の方に入れさせていただきましたんで、それと同じ所までしかやっております。で、まず地元説明が我々一番大事だと思ってたんで、他の校区に関しては9月に区長連合会の役員会の方で説明をさせていただいて、今各校区のタウンミーティングをやっておりますんで、そこでこないだ配った紙の趣旨というのを説明をしていってるところでございます。だからもちろんその際には地元の皆さんにしっかりご理解をいただくのが大事だといふ事は申し上げてますし、それと今後地元の振興を我々いっぱい図っていかないといけない中で、他の校区の皆さんもそういった点はよくよくご理解下さいよと。これまでは嘉幡の皆さん、二階堂、井戸堂の皆さんにこのごみに関してはお世話になってた所が今後この樺本の所になってくるという事になった時には、当然それは皆さんも出されたごみでございますんで、その意味と重要性といふところは他の校区の方もしっかりわかって下さいといふ事で、今タウンミーティングはやらせていただいております。やり遂げたいという希望は持っております、それはでもあのいくつかのこうステップがないと勝手にはできないんで、はい。

和爾町：ちょっとよろしいですか。あの今10市町村ね、一応今回に係わるという事で説明受けたんですけども、天理市の経緯はこれでわかりました、大体ね、今の説明見た通り・・・読んでくれはりましたんでね、ただ10市町村の内ですね、こういう候補地を天理のここに持って来られたっていうのはね、ちょっとその・・・10市町村やったら大分距離・・・そこから辺がもひとつちよつとね、わかりにくいんですわ。

市長：これはまあ次どっかもその躯体として大体50年ものつものです。で、炉でも25年なんでもその場合は入れ替えなきゃいけません。で、その次どうするのか、まあその時の人口だったり昭和40年と今と暮らし向きが全然違うように大分変わってるので、今からどのくらいの大きさの物っていうのは考えるのは適当じゃないと思うんです。その時にはもっと前もって全体を考えないといけないかなというふうには思います。ただ我々が今回のケースは結局他とやろうがやるまいがクリーンセンターというのは必要だというのがまず最初だったんで、で、そこでどっちみち1万平米ぐらいは焼却炉として必要なんで今の施設の所には造れないという事があった。で、そうすると今の候補地の所では400トン程度の物だったら建つというところまで来たんです。で、他ももちろんそれぞれ全く具体的に進んでないけども、どうしようどうしようという事で、方向性を示せずに困っておられたような状態があると。そこで私共としては一緒にやった方がもちろん建設の費用もあるいは今後の維持管理の点も、後は奈良県全体として見た場合の環境負荷も又その地元に対して出てくるその熱とかそういった事、あるいはそのダイオキシンからしても一緒にやった方がうちにとってもプラスやというふうに思ったんで、県の方にそういう全然目途が立ってなくても運搬の関係で名阪を使って来られる所、そういった所ありますかという事で照会をかけたところ今の10になってきたと。で、このもし今1からじゃあ10で組むんやったらその10の中で他の候補は無いんかいという事を言い始めた場合には何年かけて高田のどことこつとこつと比べてっていう事をまた1から全部やらないといけない、その場

合にはもううちとしては待つてられないわけでございます。炉が止まってしまふ。もうそしたらもううちだけでやるという判断をせざるを得ない。ですからどっちみち場所としてはもう確保せざるを得ないというところに来ておりまして、後はそれを他の方とやるのか、自分達だけでやるのかと。

和爾町：という事は他の市町村はそんなに切羽詰ってないって事ですか。

市長：切羽詰っておるんですけども、方向性が見い出せてなかったと。

和爾町：この中で一番詰まってるのは天理市で・・・。

市長：結論を出せないまま修理しようかなどうしようかなというような状況であったという事でございます。うちからしても切羽詰っているというように申し上げたんですが先程私がもし10年後ももうどうでもいいやというふうに思いながらという了見で腰掛けで仕事をしていたら修理するっていう方法は楽ですという事を申し上げたように、お金が3倍かかってその後もっともお金がかかって救える道、救える予算というのがどうなってもいいやと思えばうちだって修理すれば後5年間は時間的猶予が出てくると。ただそれをする事は今後の天理の為にはなるまいという事で、動いたのがうちだったという事でございます。今からもしあれでしたら外の所のまだ日が落ちる前に状況というのはピットにごみがある以上もし仮に臭いがするんであればここも臭いがやはりするはずでございますんで、一度外の状況というのを見ていただいて、またバスもでございますし説明会というのはこれで終わりというようなつもりは全くございません、あのこれから進んでいくとしてもどういった形の施設でどういったものになってくるかその都度ご相談をし、いかないといけない問題ですんで一旦外に行かせていただいてちょっとよろしいですか。はい、すみません。長い時間ありがとうございます。

以 上